HOKKAIDO UNIVERSITY

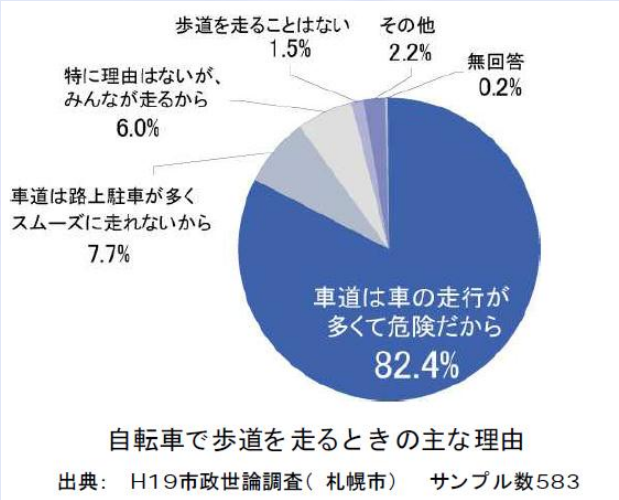
Title	札幌市の交通デザイン ： 札幌市地下サイクリングロード
Author(s)	西部ゼミ チームきんぴら
Relation	経済学部主催「第8回プレゼン・ディベート大会」 = The 8th Presentation & Debate Competition, School of Economics and Business Administration. 10月22日（土）. 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟, 札幌市.
Issue Date	2011-10-22
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/49152
Type	conference presentation
File Information	kinpira.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

札幌市の交通デザイン

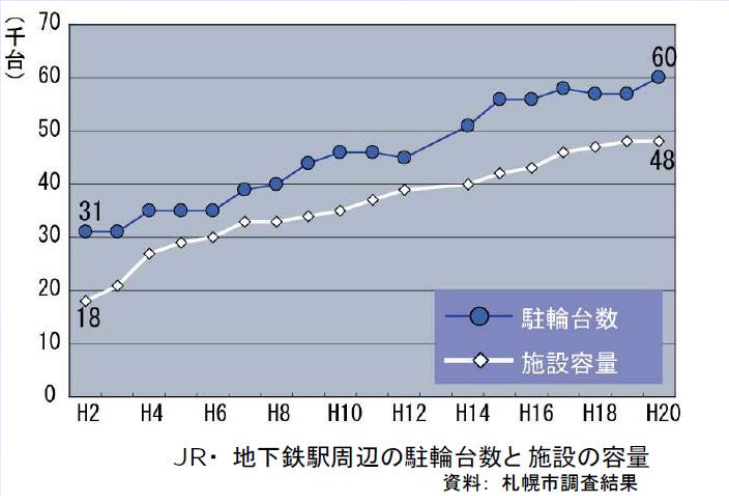
西部ゼミ　チームきんぴら
有岡　金平　安部　須藤　房川

札幌市における自転車の現状



自転車で歩道を走るときの主な理由

出典： H19市政世論調査（札幌市） サンプル数583



JR・地下鉄駅周辺の駐輪台数と施設の容量

資料：札幌市調査結果

車の車道脇一時停車

による自転車の歩道走行

→事故リスクの増加

駐輪台数が施設容量に追いつかない

→路上駐輪の増加

冬場は雪で自転車に乗ることができない

区分 ＼ 年齢層				子ども				高齢者			その他	合計
				幼児	小学生	中学生	小計	65～69歳	70歳以上	小計		
自転車事故	19年	死者数	人	－	－	－	－	－	3	3	3	6
			%	－	－	－	－	－	50.0	50.0	50.0	100.0
		傷者数	人	20	117	57	194	95	151	246	1,659	2,099
			%	1.0	5.6	2.7	9.2	4.5	7.2	11.7	79.0	100.0
	18年	死者数	人	－	－	－	－	1	2	3	1	4
			%	－	－	－	－	25.0	50.0	75.0	25.0	100.0
		傷者数	人	24	143	73	240	92	149	241	1,669	2,150
			%	1.1	6.7	3.4	11.2	4.3	6.9	11.2	77.6	100.0

札幌市　交通事故のあらまし（平成１８･１９年度）より

1　平成19年中の交通事故の概況

(1) 札幌市

発生件数	10,000 件	（前年対比	△ 1,519 件	△ 13.2 %）
死 者 数	49 人	（　〃	7 人	16.7 %）
傷 者 数	11,971 人	（　〃	△ 1,872 人	△ 13.5 %）

平成19年
全事故中で
自転車事故にあった
人の割合

<u>およそ17.5%</u>

そこで･･･

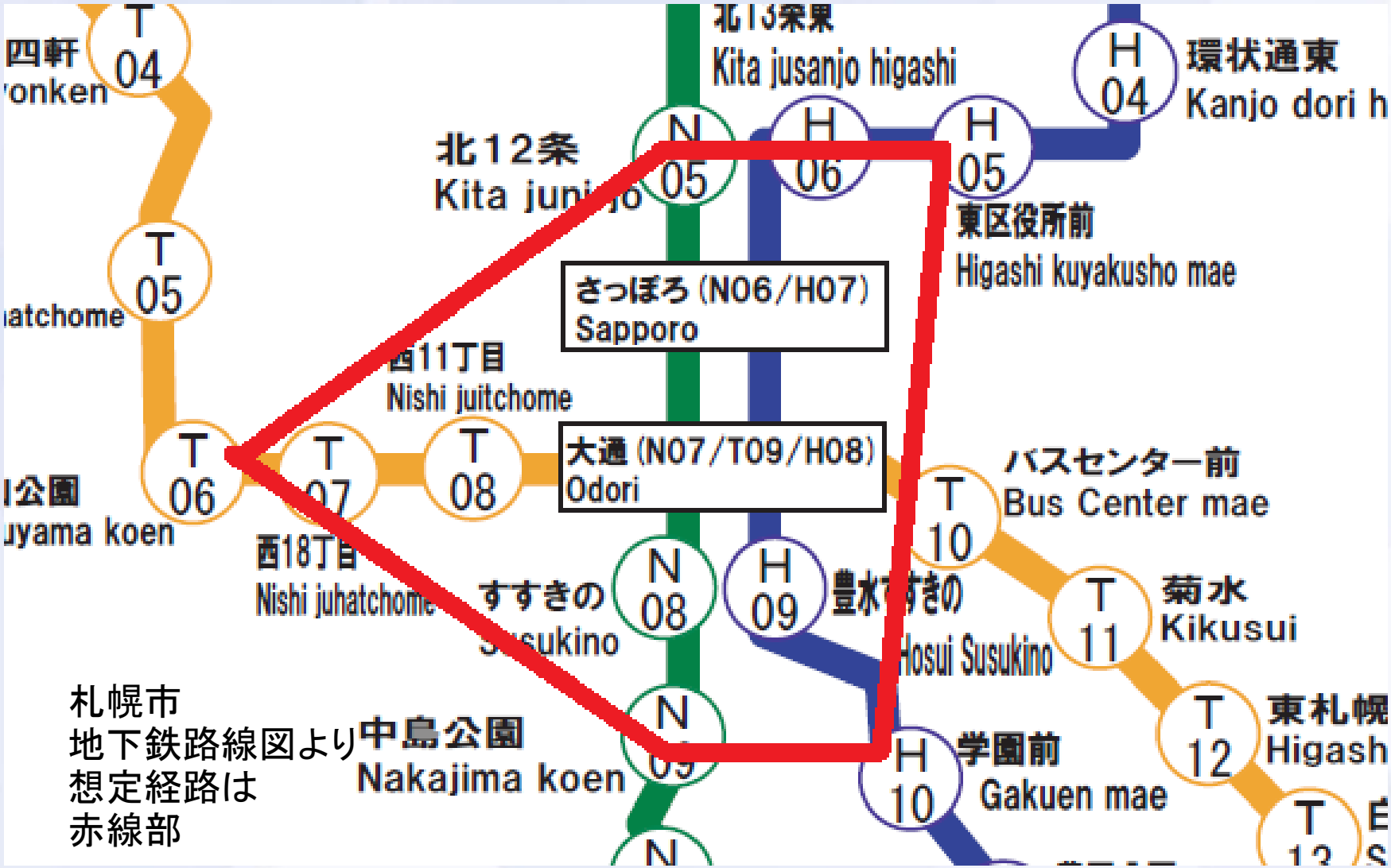
札幌市
地下サイクリングロード

・会員制･･･年会費による定期収益・会員還元

・住宅街を通る環状のルート

・自転車の貸し出し＋持ち込み不可

地下サイクリングロード想定経路



札幌市
地下鉄路線図より
想定経路は
赤線部

地下サイクリングロードのメリット

1. 通勤や通学が便利に

2. 冬場も安全に自転車利用可

3. 震災（地震）時の緊急避難経路

4. 混雑の緩和

5. 路上駐輪の減少

1．通勤や通学が便利に

平成18～22年度　地下鉄の一日あたりの

利用者統計（札幌市ホームページより）

円山公園→約11000～12000人

西18丁目＋西11丁目→約27000人

学園前→約8000人

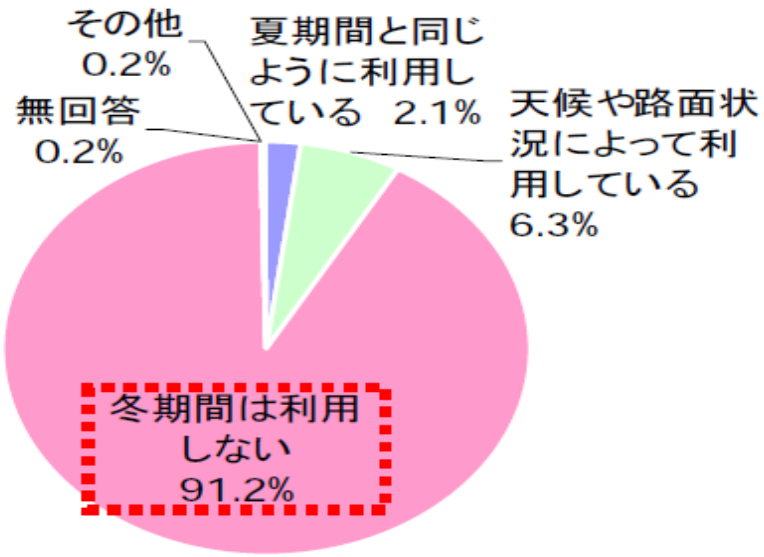
北12条→約4000人

中島公園→約8700人

最大5万9千人に影響を与えうる！

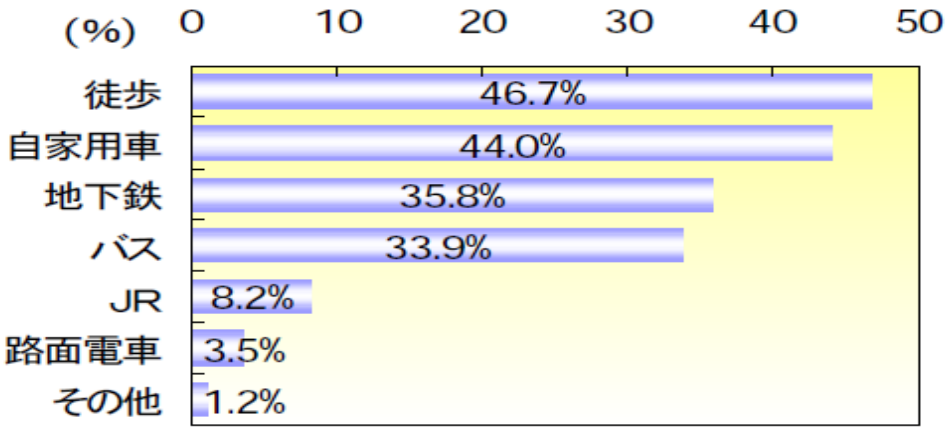
2. 冬場の自転車利用

▼ 自転車の冬期間の利用



※ 札幌市在住20歳以上の自転車利用者
583人対象

▼ 冬期間に自転車の代わりに利用する交通手段



※ 札幌市在住20歳以上の自転車利用者
570人対象（複数回答2つまで）

出典：「H19市政世論調査（札幌市）」

冬期間の自転車利用を増やすことで、

自家用車の割合を減らして

ガス排出量を減らすことができる！

３．震災（地震）時の緊急避難経路

×地下は震源に近いから、揺れると危ない･･･

〇コンクリートで囲まれているため、揺れが小さく
建物内や地上よりも安全！

4. 混雑の緩和

歩行者と自転車が交錯する歩道 (H19市政世論調査より)

歩道や車道での

事故リスク軽減

↓

歩行者と自転車走行者

双方にメリット

5. 路上駐輪の減少

都市景観を悪化させる迷惑駐輪　（Ｈ１９札幌市政調査より）

歩道から路上駐輪が消えると･･･

歩行者がより快適に！

都市景観がよくなる！

一方、問題は･･･

1. 地上店の衰退

2. 火災の危険

3. 独自のルール作り

1. 地上店の衰退

- 自転車を使う＝目的地がある

  →店舗売上に影響なし

- 会員への還元として商品券を発行、消費刺激

  →店舗活性化

- 通路内広告

2. 火災の危険

- ガスを扱うテナントを入れない（薬局などは可）
- 蛍光灯等、火災の危険の少ない照明を使う
- 非常口を一定距離ごとに設置

３．独自のルール作り

- 高速道路のように、普通車線と追越車線を分ける
- バッドマナーには会員証の剥奪などのペナルティ

まとめ

地下サイクリングロードにより実現

- スムーズな通勤通学
- 事故リスクの低く、安全で安心な町に
- 自動車のガス排出量が減少

参考

- 「平成19年　交通事故のあらまし」

...http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/documents/19aramashi.pdf

- 「札幌市政世論調査」

...http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/pub_opni/